

寒河江市水道ビジョン(概要版)

計画策定の趣旨

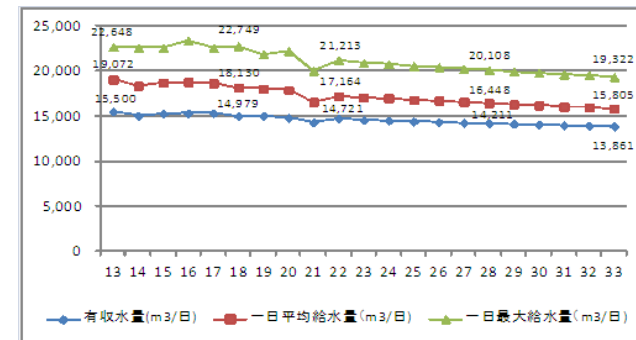
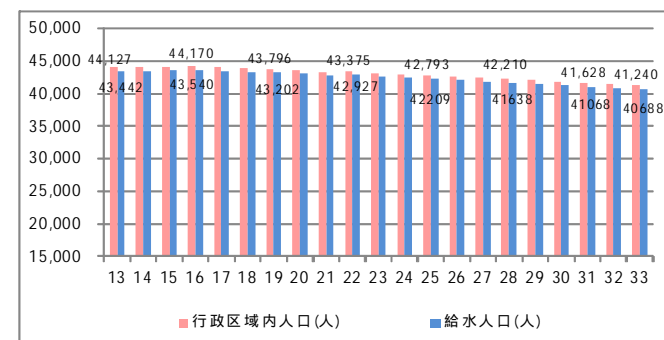
【背景】寒河江市の水道事業は、昭和 27 年に創設され、給水区域の拡張と施設の更新に取り組んできました。水道普及率もほぼ 100%となり、これまでの事業拡張から維持管理の時代へと大きな転換期を迎えています。また、人口減少社会の到来や利用者の節水による需要量の減少等により、水道事業を取り巻く環境が大きく変化しつつあります。

【水道ビジョンの必要性】本市水道事業を取り巻く環境の変化に持続的に健全な経営が可能かを検証するとともに、目指すべき将来像と取り組むべき施策を提示する『寒河江市水道ビジョン』の策定が必要です。

【第4次拡張事業との整合性】事業期間を平成13年度から平成26年度とする第4次拡張事業は、工業団地や下水道の普及による需要量の増加に対応することと、災害等で配水池への送水停止を想定した貯水能力の増強を主体に、合わせて施設や老朽管の更新を実施するものです。本ビジョンでは、この第4次拡張事業を含む基本計画として位置づけていますので、引き続き第4次拡張事業を実施する予定です。

水道事業の将来像

人口及び水需要の見通し



水道事業の将来像

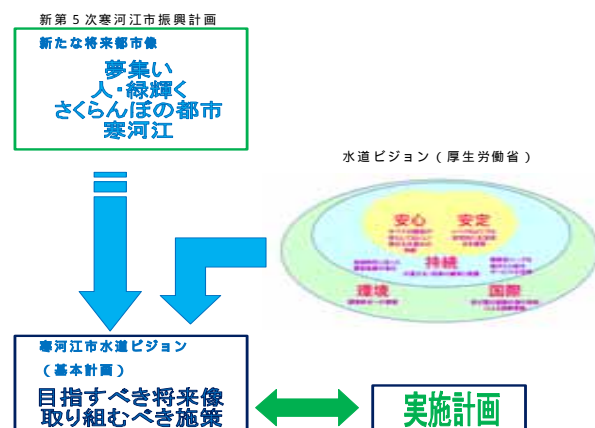
水道事業を取り巻く環境の変化に対応するため、本市の方向性は次のとおりとしました。
 運営基盤の強化と市民ニーズに対応した給水サービスを充実します。いつでもどこでも安定的に生活用水を確保します。災害に対応できる施設の充実を図ります。すべての市民が安心して飲める水道水を提供します。環境保全に貢献します。市民と事業者が共に水道事業を構築します。

目指す方向性を踏まえ、将来像を以下のとおり設定します。

～安心で市民と歩むライフライン～

- 安心して未来に引き継ぐ安定感
- 途切れることのない安心感
- 安全な水を飲める安心感
- 環境にやさしい安心感
- いつも市民とともに

計 画	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33
寒河江市水道ビジョン	→									
前期計画	→									
後期計画						→				



寒河江市水道事業の課題

1 水需要の変化	水需要の減少傾向に耐えうる運営基盤の改善
2 水道施設の整備	老朽施設の更新(水源施設) 耐震施設率の向上(水源施設) 経年管路の更新(導水管) 浄水施設の更新 経年化設備の更新(浄水施設) 幸生地区水源水質対策 老朽管路・経年管路の更新(送水管) 配水池の耐震化 老朽管路・経年管路の更新(配水管) 鉛製給水管の解消 私道給配水管の更新
3 災害対策の充実	可搬ポリタンク・ポリパックの備蓄 平野山配水池の災害対策
4 経営の健全化	料金設定の改善 有収率の向上
5 環境保全	有効率の向上 再生可能エネルギーの利用
6 パートナー	双方向コミュニケーションの推進

基本方針及び施策

1 水道運営基盤の強化	費用の削減と収入の確保及び適正な水道料金の検討 老朽化施設の計画的更新 技術の継承と人材育成 民間事業者等の活用
2 安定水源の確保	水源施設再編成の実施
3 災害対策の充実	施設耐震化率の向上 応急給水体制の強化 配水池の災害対策の強化
4 安全な水の確保	浄水方法の強化 鉛製給水管及び私道老朽給配水管の更新 放射性物質の監視
5 環境・エネルギー対策の強化	水資源の有効利用 再生可能エネルギー等の活用 電力使用量の削減
6 利用者意識の醸成	双方向コミュニケーションの充実